

2021年 秋の臨時学術大会 抄録

会 期 2021年10月3日(日)

時 間 9:00~12:40

開催形式 オンライン

一般財団法人
日本胎盤臨床医学会

東京都中央区築地 6-4-5-404
TEL: 03-6264-2991
FAX: 03-6264-3016
URL: <http://www.jpplaa.jp/>

〔日本胎盤臨床医学会 趣旨〕

プラセンタ療法は、胎盤の素晴らしい効果と機能に気づいた先人達の研究を引き継ぐ形で、わが国において 50 年以上にわたり発展を遂げてきた。

使われる注射薬が日本人によって創出されたこと、多様な疾患に有効であること、副作用の頻度が少なくかつ軽微なものであること、また投与方法が簡便であることなどにより、今後も非常に将来性のある治療法の一つであると考えられている。

よってプラセンタ療法は、我々の誇りとするところでもある。

しかしながらいくつかの課題もある。

- 1：科学的な作用機序の解明がなされていない
- 2：正しく普及していない
- 3：公正な知識を持って扱える医師・医療従事者の不足

プラセンタ療法が今後さらに発展していくためには、この療法に正しい理解を持つ医療従事者及びプラセンタ療法に携わる者が、協力し合って正確なデータを蓄積し、その有効性をより科学的に明確にしていくことが重要である。

それを率先して行うことが当学会に課せられた役割であり、また病に苦しむ多くの人々の症状改善に寄与することにつながるものである。

そのために当学会は、学術団体として公正中立で社会性をもつものであることをここに明記したい。

一般財団法人 日本胎盤臨床医学会

理事長 長瀬 眞彦

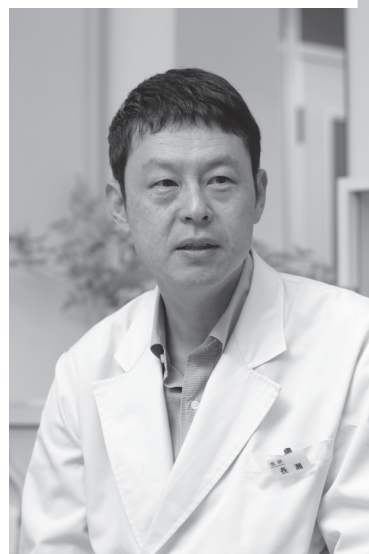
秋の臨時学術大会 開催にあたって

コロナ禍で奮闘する全ての医療従事者およびエッセンシャルワーカーに敬意を表します。

COVID-19 の影響を受け、日本胎盤臨床医学会は直近3回の大会を、大会実行委員長・副実行委員長を中心として周到な準備をしたにもかかわらず、中止せざるを得ませんでした。

このままでは正しいプラセンタ療法の情報発信が途絶えてしまうと考え、今回、2021 年秋の臨時学術大会を完全オンライン形式で開催することになりました。内容としては、これまでのプラセンタ療法の知見の再確認に加え新たな知見の提示、また、最近プラセンタ療法を知った、もしくは始めた方々のために基本的な内容も含んでいます。

ぜひ奮ってご参加ください。



一般財団法人 日本胎盤臨床医学会

理事長 長瀬 眞彦

肝疾患に対するプラセンタ治療について —ウイルス性疾患が撲滅されていく時代の中で、プラセンタ医療の意義について—

川口メディカルクリニック・院長

川口 光彦 (かわぐち みつひこ)

略歴：

昭和57年3月	兵庫医科大学卒業
昭和57年4月	岡山大学第一内科入局
昭和57年5月	医師国家試験合格
昭和57年10月	福山市市民病院 内科に赴任
昭和60年4月	広島通信病院 内科に赴任
昭和61年4月	岡山大学第一内科に帰局
昭和62年4月から	小出グループにて肝細胞培養を中心に基礎研究開始
平成元年10月	津山中央病院 内科に赴任
平成4年10月	博士号取得
平成7年10月	津山中央病院 消化器内科肝臓部門部長に就任
平成8年10月	岡山済生会総合病院 内科に赴任
平成8年11月	内科医長就任
平成14年4月	内科主任医長就任
平成17年10月	岡山済生会総合病院客員医長、川口内科副院長就任
平成18年8月	医療法人川口内科 院長・理事長に就任



所属学会：

日本内科学会 認定医 日本内科学会 中国支部評議員 日本肝臓学会専門医
日本東洋学会 専門医 日本臨床漢方医学会会員
日本消化器病学会 専門医 日本消化器病学会中国支部 評議員
日本胎盤臨床医学会 理事
日本臨床内科医会 理事 介護・医療保険委員会副委員長
日本癌学会会員 日本抗加齢医学会正会員 日本認知症予防学会会員

委嘱：

岡山済生会総合病院 内科非常勤医師(客員医長)
岡山県肝炎対策協議会委員 岡山県肝炎治療患者認定協議会委員
岡山県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員
岡山市介護認定審査会委員 岡山県医師会保険指導医

ウイルス性肝炎、特に C 型肝炎は抗ウイルス剤の登場にて、ほぼ90%の C 型肝炎の患者のウイルスを駆除できることになった。また B 型肝炎もウイルスを抑え込む抗ウイルス剤の登場にて、B 型活動性肝炎もほぼなくなり、また出産時のユニバーサルワクチン制度が実施され、数十年後の日本にはほぼ新規の B 型肝炎はなくなる見込みである。したがって、当院の一次肝臓専門医療機関において、プラセンタ治療を受けている患者数は激減している状況である(ラエンネック28例/月、メルスモン25例/月)。一方、ウイルス性肝炎が減っている中で、生活習慣病の増加による脂肪性肝炎が増加傾向である。当院でも脂肪性肝炎は次第に増加してきている。このような肝疾患に対してラエンネックを使えるかどうか、コンセンサスはまだ得られていない。今後何らかの形でラエンネックが肝臓内の脂肪減少に役立つかどうか、基礎研究、臨床研究を実施すべきと考える。

プラセンタ組織(胎盤埋没)療法について

原クリニック・院長

原 靖 (はら やすし)

略歴：

1994年 久留米大学医学部卒業、同大学外科学教室入局

2001年 久留米大学大学院 医学研究科外科系専攻博士課程卒業

社会保険田川病院、甘木朝倉医師会立朝倉病院、原外科医院などを経て

2013年に原クリニックを開院し、現在に至る



昨今ではTVやインターネット、新聞や雑誌でも様々な商品情報の中に「プラセンタ」という言葉を多く目にするようになり、中には「植物プラセンタ」や「海のプラセンタ」などと謳っているものもある。これは「プラセンタ」が周知されてきたことの一つの証であり、プラセンタ療法に長年携わってきた私としてはある意味喜ばしいことではある…。しかし、プラセンタ療法の礎を築いてきたのはヒト、そしてブタやウマといった哺乳動物の胎盤であり、母体のお腹の中で赤ちゃんを育て上げたという毅然とした事実がある胎盤を利用した医療がプラセンタ療法である。

「ヒト胎盤」を利用したプラセンタ療法の中の一つに「プラセンタ組織(胎盤埋没)療法」がある。これは多くの医療機関で使用されているヒト胎盤抽出物由来の注射製剤であるメルスモンやラエンネックに比べて手間もかかる為、施術している医療機関はとても少なく現在では一種独特な治療法であろう。今回は短い時間ではあるが、プラセンタ組織(胎盤埋没)療法の歴史や現況、また効果の謎などについてお話しさせて頂く予定である。

耳鼻咽喉科領域におけるプラセンタ治療の応用

きたにし耳鼻咽喉科・院長

北西 剛 (きたにし つよし)

略歴:

きたにし耳鼻咽喉科院長。日本アーユルヴェーダ学会理事長。医学博士。

1992年 滋賀医大卒業。

2005年開業以来、西洋医学に加えて、代替医療・伝統医学などを組み合わせた統合医療を実践している。

本学会理事、日本東方医学会理事ほか。

近著には『慢性副鼻腔炎を自分で治す』（マキノ出版）、『「うるうる粘膜」で寿命が延びる!』（幻冬舎MC）など。



●プラセンタの導入

通常治療で難治とされる耳鳴、めまいおよび耳鼻科外の不調などを中心に、治療の一選択肢としてプラセンタを取り入れている。

●当院症例のまとめ

経過を追えた180例について報告。男女比は女性が72%。症状を診療科ごとに大別すると、耳鼻科症状が57.2%。他の診療科症状としては、内科全般では疲れやすさ、婦人科では更年期症候群、整形外科では各種疼痛性疾患などが治療適応。耳鼻科症状のうち、耳鳴・難聴・めまいなどいわゆる蝸牛前庭症状が84.5%。他の治療選択肢が少なく、治療抵抗例が多いことが理由であると推察。

●耳鼻科疾患に対するプラセンタ治療の報告

①スギ花粉症

2017年スギ花粉症にて、内服薬単独群よりも、プラセンタ単独群の方が良い成績であった。

②心に残った症例

症例1: 50歳代男性。耳鳴。精神科治療薬断薬可。耳鳴苦痛度が0に。症例2: 50歳代男性。左メニエール病による難聴。治療により聴力が改善。症例3: 70歳代女性。右メニエール病難治例。約7か月の治療により著明な改善、生活活動範囲が広がった。

難治例に対するプラセンタという選択肢により、治療の幅が広がり、他治療では見られない劇的な改善例も経験することをお伝えする。

美容と健康寿命 アンカードラッグのプラセンタ

医療法人 最匠会・理事長／光伸メディカルクリニック・院長

中村 光伸 (なかむら こうしん)

略歴：

東京生まれ。

北里大学医学部卒業、北里大学整形外科入局。

ドイツ・フンボルト大学・台湾・チャンガン大学へ留学 北里大学整形外科専任講師・北里大学救命救急センター整形外科長、松倉クリニック&メディカルスパ等を経て、

2011年12月 光伸(こうしん)メディカルクリニック 東京・新宿にて開業。
現在に至る。



資格・所属学会：

医学博士、日本整形外科学会認定医、日整会認定スポーツ医、日整会認定リウマチ医、日本抗加齢学会認定医、日本体育協会公認スポーツドクター、日本胎盤臨床医学会認定医 日本美容皮膚科学会、日本美容外科学

日本で抗加齢医学が提唱され、約20年になる。そしてその本題が“老化を遅らせよう”から“健康寿命を延ばそう”に代わり、近年では“老化は病気で若返りを目指そう”と代わってきている。若返りを真摯に探究すると、30兆個ある人の細胞一つ一つを若返らせる必要がある。この時代の流れにも、いつも普遍的に対応しているドラッグがプラセンタである。

プラセンタの効能は、保険薬として認められている肝機能改善と更年期障害と乳汁分泌不全の治療があるが、投与方法により肌をきれいにしたり、筋肉のバランスを改善したりと、その他にも多くの機能改善が示されている。これらの結果を一言で言うならば、細胞一つ一つをより元気な状態に戻しているというのが適切ではないかと考える。

今回の発表では、美容医療を中心に、いくつかのデーターを提示し、プラセンタのアンカードラッグとしての可能性について述べていきます。

日本胎盤臨床医学会のこれから

吉祥寺中医クリニック・院長／順天堂大学医学部医学教育研究室

長瀬 眞彦 （ながせ まひこ）

略歴：

1994年 順天堂大学医学部卒業
1994年 JR東京総合病院 内科
1996年 順天堂大学医学部 放射線科
1999年 長白会タニクリニック副院長
2001年 鉄砲洲診療所 副所長
2006年 吉祥寺中医クリニック 院長
2017年 順天堂大学医学部 医学教育研究室

役職：

日本東方医学会会長
一般財団法人東方医療振興財団理事長
医学雑誌「東方医学」編集委員
日本胎盤臨床医学会 理事長
順天堂大学医学部 医学教育研究室 協力研究員
杏林東洋医学研究会 世話人

著書：

「更年期障害、疼痛、美容などにプラセンタ療法」 ハート出版
「プラセンタ療法と中医学の調整作用」 ハート出版
「医師たちが選んだプラセンタ療法 体にやさしいが、しっかり効く胎盤パワーの秘密」（監修） 現代書林
「漢方処方 定石と次の一手」（共著） 中外医学社
「漢方処方 保険で使える全種類まるごと解説」（共著） 中外医学社
問診から選べる漢方薬ツールキット（「日常診療ツールキット」シリーズ2）（共著） カイ書林

所属機関名・部署・肩書：

吉祥寺中医クリニック 院長
順天堂大学医学部医学教育研究室
日本胎盤臨床医学会 理事長
一般財団法人東方医療振興財団理事長
日本東方医学会 会長

専門医：

日本東洋医学会 漢方専門医・指導医
日本東方医学会 中医専門医



日本胎盤臨床医学会は2007年から14年間に亘り、26回の学術大会を開催してきた。当初は、実地医科の症例報告やプラセンタ療法の歴史の話が中心であった。しかしながら、回を重ねるにつれ、本会の基礎となるプラセンタ療法の作用機序の考察に加えて、栄養学や量子医学、さらにはがんのマイクロRNA 体液診断、再生医療、がんの近赤外線免疫療法など最先端の医療知見の招待講演なども行うことが出来るようになってきた。また、サプリメントを用いた研究ではあるが会員の施設に於いて、多施設共同で RCT を行い、2本の論文という形に結実させた。これらが示すように学会として着実に進歩している一方で、臨床試験法の成立により、開業医中心の RCT が困難な状況になりつつある。このような背景において、今後、日本胎盤臨床医学会が取りうるべき指針を提示したいと考える。

文献：

Kitanohara et al. Climacteric. 2017 Apr;20(2):144-150.
Nagase et al. Front. Nutr., 20 October 2020

パネルディスカッション 1

プラセンタ療法と睡眠

パネラー

上田 容子

医)美帆会 神楽坂ストレスクリニック 院長



稗田 圭一郎

医)五常会 鶴巻メンタルクリニック 院長



パネルディスカッション 2

プラセンタ療法と更年期障害

パネラー

北野原 正高

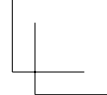
きたのはら女性クリニック 院長



西谷 雅史

響きの杜クリニック 院長





2021年秋の臨時学術大会

開催形式 オンライン (ZOOM)

テーマ コロナ禍においてプラセンタ療法ができること

- 9:00～9:10 開会の辞 理事長 長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長 / 順天堂大学医学部医学教育研究室
- 9:10～9:30 指定演題1 肝疾患に対するプラセンタ治療について
～ウイルス性疾患が撲滅されていく時代の中で、プラセンタ医療の意義について～
演者：川口 光彦 川口メディカルクリニック・院長
- 9:30～9:50 指定演題2 プラセンタ組織(胎盤埋没)療法について
演者：原 靖 原クリニック・院長
- 9:50～10:10 指定演題3 耳鼻咽喉科領域におけるプラセンタ治療の応用
演者：北西 剛 きたにし耳鼻咽喉科・院長
- 10:10～10:20 質疑応答(10分)
- 10:20～10:40 指定演題4 美容と健康寿命 アンカードラッグのプラセンタ
演者：中村 光伸 医療法人 最匠会・理事長 / 光伸メディカルクリニック・院長
- 10:40～11:00 指定演題5 日本胎盤臨床医学会のこれから
演者：長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長 / 順天堂大学医学部医学教育研究室
- 11:00～11:10 質疑応答(10分)
- 11:10～11:40 パネルディスカッション1
プラセンタ療法と睡眠
パネラー：上田 容子 医)美帆会 神楽坂ストレスクリニック 院長
稗田 圭一郎 医)五常会 鶴巻メンタルクリニック 院長
- 11:40～12:10 パネルディスカッション2
プラセンタ療法と更年期障害
パネラー：北野原 正高 きたのはら女性クリニック 院長
西谷 雅史 響きの杜クリニック 院長
- 12:10～12:25 質疑応答(15分)
- 12:25～12:35 第31回大会案内 中村 光伸 医療法人 最匠会・理事長/光伸メディカルクリニック・院長
- 12:35～12:40 閉会の辞 長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長 / 順天堂大学医学部医学教育研究室

※講演内容、時間に変更になる場合がございますので、予めご了承ください。